



2017年第8回(通算255回)

松愛会 くらわん会 コース案内図

【実施日】 2017年8月1日(火) 18:00~

【担当】 コース担当リーダー:井之上
サブリーダー:進藤・小林 無線担当:安藤
HP担当:永井・富田 MAP担当:進藤

【コース】 ツバメのねぐら(たそがれウォーク) 歩行距離:約4Km

①京阪宇治線 観月橋駅(集合)⇒
②宇治川公園 ⇒ ③ヨシ原(ツバメのねぐら観察)
⇒ ④京阪宇治線 観月橋駅(解散)

【ツバメについて】

- ・北半球で広く繁殖し、日本では種子島以北の全国で繁殖する。北海道では道南に限られる。
- ・産卵期...4~7月
卵数...3~7個、抱卵日数...13~18日
巣立ち迄の日数...20~24日
- ・渡ってきて1回目生まれた子を1番子、2回目の子を2番子と呼ぶ。1シーズンに2~3回ヒナを孵します。
- ・子育ての時期は巣の周辺で夜を過ごす、ヒナが巣立つと親鳥も子鳥も巣の近くに帰ってこなく、皆で集まって眠ります(集団ねぐら)。
- ・秋になると今年生まれた子ツバメと親ツバメ共に、島伝いにフィリピンやマレーシアへ渡る。

【伏見ツバメのねぐらについて】

- ・ツバメのねぐらは近畿で20ヶ所あり、ここ伏見は最大の規模。夕方になると南山城や吉野山周辺で過ごしたツバメが集まってくる。
- ・宇治川向島のねぐらは、1913年に発見されてから今日に至る。
- ・集まってきたツバメは上空で時間をすごし、日没後20分くらいするとヨシ原に降りてくる。
- ・伏見にはヨシ原が残されていてヨシの穂や葉の上に止まり夜を過ごす。
(蛇等敵から身を守る)
- ・ヨシ原はツバメが安全に過ごす場所であり情報交換の場でもある。
- ・朝は日の出10~20分前に数千羽単位で次々とヨシ原から飛び立つ。 <=>

<=>

- ・ツバメの体重は、成鳥も若鳥も8月初旬迄には17~18g、8月下旬に成鳥は20g、若鳥がその域に達するのは9月下旬になる。
- ・移動距離は、京都~マレーシア間で2400kmあり、体重を増やして渡りに備える。
- ・巣立ちしたヒナが成鳥になるのは20%程度である。



【次回のご案内】

- 服部緑地(府三大緑地)
- ・集合日時:9月5日(火)10:00~
- ・集合場所:北大阪急行 緑地公園駅
 - ・リーダー:葛城(090-3979-3514)
 - ・サブリーダー:内田(080-3033-7263)